

会 議 録

会議名	令和5年度第3回西尾市図書館協議会
日 時	令和6年3月15日（金）午後3時～4時
場 所	西尾市立図書館 3階 会議室
出席者	安井会長、鳥山副会長、浅井委員、桐山委員、板倉委員、辻村委員、伊與田委員
欠席者	富田委員、今本委員
市係等出席者	鈴木教育部次長、齋藤図書館長、生田館長補佐、黒野主任主査
傍聴者	なし
<p>協議事項等については、以下のとおり。</p> <p>1 開会あいさつ 安井会長</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和6年度事業計画（案）について（齋藤館長より説明）</p> <p>1. 基本方針について</p> <p>図書館は、乳幼児から高齢者まで、住民すべての生涯学習の拠点であり、情報の入手、地域文化の創造の場所です。市民の交流の場として、「いつでも」「どこでも」「だれでも」利用できる身近な図書館を目指します。</p> <p>また、子どもたちが本との出会いの楽しさや、知る喜びを体験できるよう、子ども読書活動を推進するとともに、利用者ニーズに応じた資料収集やサービスを提供します。</p> <p>2. 施策について</p> <p>主だったものについて説明します。窓口等での貸出サービスでは、個人目標は、図書館来館による個人貸出点数の目標としては、令和4年度に策定した「西尾市図書館運営基本計画」に基づき、市民一人当たり7.0冊としました。</p> <p>なお、本数値は令和14年度の最終目標数値であり、当面は令和9年度の間目標である6.4冊を目標とします。また、「電子書籍貸出サービス」にも力をいれてまいります。</p> <p>利用促進事業では、「西尾っ子読書フェスティバル」などのイベントや講座を計画しております。</p> <p>子ども読書活動推進では、読書通帳の配布やブックスタート事業などにより、子どもの読書意欲の向上を目指します。</p> <p>利用者それぞれのニーズに対応した、子育て支援サービス、学校支援サービス、高齢者及び障害者対応サービス、行政と連携したサービスなどを行います。</p> <p>資料整備においては、資料の収集方針にそった、資料購入を行ってまいります。</p> <p>蔵書管理においては、I Cタグ導入による貸出・返却のセルフ化を進め、令和6年度は本館の既存本10万冊へのI Cタグの貼付を進めてまいります。</p> <p>3. 令和6年度行事等計画（案）について（生田館長補佐より説明）</p> <p>主な行事を説明します。全館共同開催行事として、4月23日の子ども読書の日をPRするため、4月20日から5月5日まで西尾っ子読書フェスティバルを開催いたします。</p> <p>今年度のメイン行事としまして、絵本・児童文学作家である平田昌広さんの絵本ライ</p>	

ブを本館で行います。平田さんは絵本や児童文学書を50冊以上出版されており、奥様である平田景さんと一緒に作られた絵本も30冊以上あります。言葉遊びの絵本も多く出されており、今回の絵本ライブでは、読み聞かせの他にことば遊びを楽しんだり、クイズや歌などもあり、親子で絵本を楽しめる内容となっております。

西尾つ子読書フェスティバルに関しましては、本日机上にチラシを置かせていただきましたので、詳細はそちらをご覧ください。

続いて「としょかんおやこ読書ノート」ですが、昨年度のこの会議でお知らせしました通り、6年度からは保育園で配布するものにつきましてはデータでの配布とさせていただきます、分館も含めた図書館とふれあいセンターの窓口で配布するものは今まで通り冊子での配布とします。

各館ごとの計画についてご説明します。まず、本館ですが、図書館講演会としましては郷土の出身者、ゆかりのある方の講演会を予定しておりますが、講師、時期はこれから調整してまいります。また、大人向け講座としまして、夏頃に文学講座を予定しております。昨日、今年度の古典文学講座としまして紫式部と源氏物語に関連する講座を企画しましたところ、30名の定員に100名の申込みがあり、定員を40名に増やして開催いたしました。大河ドラマの人気の続いているうちに次の講座を考えたいと思っています。

3つの子ども向け講座は例年通りとなっております。

ボランティア養成講座につきましては、ボランティアさんの要望等も聞き、これから調整してまいります。

読み聞かせ講座は、毎月23日は読書の日としていることから、平日の23日に保護者向けに読み聞かせ講座を行っています。今年度は委員の鳥山さんや辻村さんにもお手伝いいただきました。

一色学びの館の行事について大人向けの講座の9月の講座は、毎年この時期に地域包括支援センターとの行政連携として認知症に関する様々なPRを本館分館ともに行っていますが、6年度に一色はその期間に合わせて講座を開催します。また、施設の利活用に関する事業としましてにしお本まつりの期間に合わせて、本の交換会を行います。図書館の不要になった本を市民の方々に配布するリサイクルバザーはすべての館で行っていますが、ブックトレード交換会は初めての試みであります。

吉良図書館の行事について、吉良町は歴史のある町、また子ども読書の街であったことから、歴史に関する資料収集と子ども向けの読み物を特色とした図書館としており、5月に絵本を作る講座、6月に歴史講演会を予定しています。

幡豆図書館の行事について。幡豆図書館は、自然と植物に関する資料収集を特色としており、大人向け講座として6月に植物に関する講座、子ども向けの夏休みの自由研究のお助けとして7月に気象予報士による講座を予定しています。

令和6年度も10月の最後の土日である26・27日に第19回にしお本まつりを予定しています。

(質問)

・令和6年度に茨木のり子に関する催事の予定はあるか？

→令和8年度は茨木のり子生誕100年でありますので、徐々に気運を盛り上げていこうと、今年度石川先生の講演会をお願いしたところ絶大なる人気で、申し込みが90人弱ありました。

(2) 令和6年度図書館関係予算(案)について(黒野主任主査より説明)

人件費関係の1報酬から8旅費まではこちらのとおりであります。1報酬につきましては、会計年度任用職員の賃金単価の増額、3職員手当等につきましても、会計年度任用職員の期末手当の支給に加え、来年度から勤勉手当が支給されることによる増額となっております。

11 需用費は、光熱水費が電力契約業者の変更による減が主な要因です。

12 委託料は、今年度実施しました図書館情報システム導入に係る委託料の減及び一色

学びの館指定管理料の内、光熱費の電力契約業者の変更による減が主な要因であります。

1 3 使用料及び賃借料には、物価高騰による図書館情報システムの機器借上料及び6月に更新する複写機借上料の増が主な要因であります。

1 4 工事請負費は、今年度行いました一色学びの館エレベーター改修工事及び幡豆図書館研修室空調施設改修工事完了による減です。

1 7 備品購入費は、市役所財政課からの10%シーリング実施により購入冊数の見直しなどを行いましたが、これ以上は削減できないと説明し、74万円の減となりました。

全体では、令和6年度3億5,385万1千円、令和5年度3億7,603万5千円で2,218万4千円の減、前年比5.9%の減となっています。

今年度予算は、物価高騰に加え市の財政状況を受け10%シーリングが実施され、厳しい予算となっています。予算については、ただいま市議会にて審議中です。議会にて可決されましたら、先ほど説明いたしました運営計画と行事等計画に基づいて事業を進めていきます。

(質問)

- ・ 予算項目の番号が飛び飛びとなっているのは。  
→ 予算の節の番号です。番号のない節は該当がないということです。
- ・ 電子書籍と電子雑誌について、書籍は冊数、雑誌はタイトル数で表記されていますが。なぜ違うのか。  
→ 雑誌は、同じタイトルで月刊であれば12冊、季刊であれば4冊ですので、雑誌は冊数ではなく、タイトル数で表記をしています。
- ・ 一色学びの館指定管理料の減の理由は。  
→ 主な理由は、光熱水費が電力会社の変更により電気料金の単価が下がったためによる減です。

### 3 報告

#### (1) 図書館利用者アンケート調査の結果について

令和5年度の図書館アンケートの調査結果です。調査対象は、本館、分館の利用者で、調査期間は11月21日から12月24日までです。

アンケートの回答数は、本館392、一色が68、吉良223、幡豆135の計918人から回収しました。

- ・ 性別は7割が女性、3割が男性です。
- ・ 年齢は、20代が2.8%で、利用が少ないです。
- ・ 利用頻度は、月に1回から2回の利用が60%
- ・ 毎月23日が読書の日に定めていることを知っていますか→ 知らないが60%程度
- ・ 借りたい本はそろっていますか→ 満足、やや満足が64%
- ・ 借りたい雑誌はそろっていますか→ 満足、やや満足が33.5%
- ・ 借りたいCD、DVDはそろっていますか→ 利用したことがないが45%、満足、やや満足が18%  
DVDは著作権付きのものを購入する必要があるので、利用者ニーズを反映しづらい。
- ・ 貸出冊数について→ 満足、やや満足が80%超  
西尾市の貸出冊数は20冊、近隣市町は10冊であり、満足度は高めです。
- ・ 開館時間について→ 満足、やや満足が78%  
本館、一色は午後7時、吉良、幡豆は午後6時まで。自由意見で吉良も午後7時までにしてほしいという意見がありましたが、費用対効果を考えますと、現状ではそのままの時間で運営していきます。
- ・ 講演会・おはなし会について→ 知っているが利用したことがないがおよそ50%  
20・30代の子育て世代の利用が少ない。周知をして魅力あるおはなし会を開催し

ていきます。

- ・読書通帳について→ 知っているが利用したことがない、知らなかったが52% 市内の中学生以下は無料、高校生以上は300円で購入。大人の方で認知されていない傾向にあります。
- ・電子図書館について→ 知っているが利用したことがない、知らなかったが65% 自由意見で、電子図書館が利用しにくいという意見もあるので、コンテンツなどを見直していきます。

(自由意見について)

利用者アンケートとは別に、自由意見として、本館137、一色35、吉良69、幡豆42、計283件の回収がありました。

項目別では、施設関係74件、所蔵資料関係92件、図書館の運用について41件、職員と利用者について34件、その他42件、計283件です。

①施設について

- ・本館のトイレについて照明が暗くて怖い。  
→年末までに照明のLED化工事を予定しています。
- ・図書館の出入口が狭くて危険。  
→鶴城公園の再整備工事等で、駐車場の出入口の拡張を要望していきます。
- ・幡豆の移転について。  
→土砂災害警戒区域に指定されているため、移転を視野にいれ検討していきます。

②所蔵資料について

- ・連載物で途中にかけている巻号のものが残り残念です。  
→随時購入をしていますが、絶版になっているものもありすべてそろえるのは難しいものもあります。
- ・絵本の並び方が作者名で並んでいるが、タイトルで並べたほうがわかりやすい。  
→本館では絵本は絵が重要であることから、絵を描いた作者別に並べています。
- ・本館からの巡回本がたくさんあるとうれしい。(一色)  
→分館、配本所には2週間に一度のペースで、本館で購入した準新刊本を配送し入替を行っています。
- ・電子図書館にどんな本があるかわかりにくい。  
→令和2年度に導入した電子図書館は、利用者数が伸び悩んでいます。2週間ごとに特集を変更したり、本まつり等のイベントで電子図書館の使い方講座を開催したりして周知を図っています。

③図書館の運用について

- ・予約やリクエストの本の受け取りが、ふれあいセンターでできるのがありがたいです。  
→コロナによって利用形態が変化し、本館、分館でなく、近くの配本所を利用している利用者が多くなっている。本館から分館、配本所等への配送量も年々増えている
- ・ホームページがわかりにくい、貸出履歴をホームページで見たい。  
→貸出履歴は読書通帳をつくっていただくか、ホームページの利用者ページの読書記録で確認をすることができます。
- ・駐輪場の利用マナーが悪い。(一色)  
→一色学びの館は周辺にバス停があり、駐輪場はバス利用者と一色学びの館利用者と共用の状態であり、台数が多く駐輪場の枠から出ているので、注視してくださいと一色学びの館に依頼しました。
- ・平坂地区に住んでいて、近場で本を返す場所がない。  
→矢田ふれあいセンターが返却窓口業務を行っており、西尾勤労会館には返却ポストが設置してあります。
- ・ホームページに学習室の空き状況を掲載してほしい。  
→現在では本館の学習室が満席になった場合はX(旧ツイッター)でお知らせをし

ている。Xの使用条件が変更され、登録しないと見ることができない状態にあるので、今後対応していきたいと考えています。

(意見・質問)

- ・米津ふれあいセンターでは、今年度からおはなし会を鶴城中学のボランティアが行ってくれている。全3回中、第1回目は十数名、2回目からは保育園と小学校3年生以下を対象にチラシを配り、30人前後の参加があった。先日行った3回目は、ふれあいセンターに綿菓子機があるので綿菓子を配ったところ、50数人の参加があった。これからもふれあいセンター側で集客の応援をしていきたい。
- ・学習室が満席になることはどのくらいの確率でなるのか。  
→平日で満席になることはほぼありませんが、テスト週間やその土日は満席になりますので、臨時で会議室を臨時学習席として利用しています。その他、各ふれあいセンターでもロビーや空き部屋を学習室として開放しています。
- ・吉良でおはなし会を行っているが、出席者が減っていて、子どもの絵本離れが進んでいるような感じがする。おはなし会に一人も来ないときもあるので、いろいろ工夫が必要であると思っている。  
→一色のおはなし会もボランティアさんが行うおはなし会は、土曜日でもあり参加人数は多いのですが、一色の学びの館スタッフによる未就園用のおはなし会は参加者がいない状態が続いていますので、曜日と時間帯を変更する予定です。
- ・保育園にも図書館から本を配送してもらっており、子どもたちがいろいろな本にふれる機会が多くなって感謝している。子どもたちをみると物語を読んでいたりと、絵本を読んでいたりと本当に本が好きの子が多いなという感じです。  
おはなし会のチラシの配布については、保育園でも配布をさせていただき、少し協力はさせていただいているのではないかと考えています。子育て支援の観点から保護者も子どもたちをどこかに連れていきたいと思うので、米津ふれあいセンターのように綿菓子の配布などがあると出かけやすいのではないかと。その際には、ご案内の協力ができればと思っている。
- ・10%シーリングについて、学校図書館も来年度図書費が減らされるということを知り、タブレットの導入で調べ学習はそちらでできるので、どこかで削減する必要はあると思うが、図書館でも予算が限られており、電子図書館も整備されていることから仕方がないことかと思っている。ただ、個人的には一番大事な部分が減らされることについて、読解力をつけるためにも豊かな心を育むためにも本が大事であると思っている。  
→図書購入費については、図書の単価が上がっており、令和4年度に予算が増となった分の最小限の分を減らし、この数字となりました。図書購入費は図書館という聖域の部分でありますので、こちらとしては死守したというご理解でお願いしたい。
- ・アンケートの駐車場の台数の設問で「利用したことがない」の吉良の数字が124となっているが、この数字は何か。  
→誤りの数字ですので、再度確認します。
- ・おはなし会のことで、メンバーとも話していたのですが、おはなし会の結果の写真や事業報告について図書館が発信してくれるとより関心をもってもらえるのではないかと考える。20代、30代のお母さんはスマホを毎日見て、インスタなどの関心があることについては長時間見ていると思うので、市からのLINEも行事がどんどん入ってきて、知らなかったことを知れることができているので、効果があるのではないかと考える。図書館も若い人たち、お母さんたちに利用してほしいということをLINEやインスタの利用がとても有効で、おはなし会の写真を載せてくれるといいねと話していた。人員や時間もかかるのですが、利用促進という観点からもぜひ行ってほしい。  
→図書館だよりもイベントの報告を載せることがありますが、月一度の発行であり、タイムラグが発生しますので、Xに掲載する方向で検討していきます。

・図書館はX（旧ツイッター）だけか。

→インスタは行っておらず、Xでつぶやいてはいます。市のLINEでイベントの告知は流しますが、イベントの報告などは流していませんので、図書館のXにあげるとは可能です。一色学びの館は、SNSを何種類か発信していますので、話をしてみます。

(2) その他

①配本所の棚固定について

先回の協議会で発言のありましたふれあいセンターの書棚の固定について、寺津と福地はすべて耐震補強が行われており、固定されています。米津については、壁面にある書棚は固定されていますが、中央の書棚は固定されていないと施設を所管する生涯学習課から報告がありましたので、早急に対応します。

4 その他

なし

※会長により西尾市図書館協議会を閉会。

5 閉会あいさつ 鈴木教育部次長